

日本における「ジェンダー」使用例と 用法の曖昧さについて

— 「ジェンダー解体」をヒントにして —

吉田 沙織

筆者が日本語教育とジェンダーに関する論文を執筆した際、資料の中に「ジェンダー」を「性別・男女」等の代わりに使用する例が見られた。そこで本研究では、本来の意味と異なるジェンダー使用の具体例を取り上げて考察を試み、「ジェンダー平等」が誤用拡大の一因となった可能性について述べる。最後に「ジェンダー解体」について紹介する。

日本においてジェンダーは「社会的・文化的な性別」と翻訳・定義されてきた。社会的・文化的な性別とは、女らしさ男らしさのような固定観念や、男女の生物学的差異に基づいた性別役割分担、また、男性中心主義的な考え方によって構築された社会のことである（若桑 2003：13）。それらをセックスと区別してジェンダーと呼び、可視化することで、男女平等を目指すのが本来ジェンダーの持つ批判的な意味合いであった。

しかし現在、ジェンダーは様々な言葉の代替語となり批判性を失っている。例えば新聞では「ジェンダー比」（東京新聞 2022）という言葉の使用が見られた。仮にこれを直訳すれば「女/男らしさの比率」となるが、実際には「男女比」と同義で用いられていた。安易に男女や性別をジェンダーに言い換えれば、実体として誰と誰の比率や偏りを問題視しているのかを曖昧にし、問題の所在を覆い隠す恐れがある。その他の例は（表 1）に記した。

ジェンダーの用法の混乱を懸念する声は以前からある。「明確な概念や定義、使用方法のないままにそれ（＝ジェンダー）を用いることは、『性』に関する研究全体の混乱や後退を引き起こしかねない」（伊藤 1995：443）「アメリカにおいてそれ（＝ジェンダー）は『通常用法』の一局面となり、女性、両性間の差異、およびセックスの同義語として日常的に提示されるようになって

てしまった」「今日では、批判的切れ味の失われた語になってしまったのである」(J・W・スコット 2004: 15-16) (いずれも括弧内引用者) などである。

Twitter の例 (表 1) のように混乱が一般にも広まった理由の一つとして、SDGs の話題でも耳にする「ジェンダー平等」の普及があると考えられる。ジェンダー平等とは平たく言えば男女平等の言い換えであるが、直訳してしまうと「女らしさ男らしさの平等」となり、非常にわかりにくい。だがそれは指摘しないのがお作法のようである。ただ、世間一般に暗黙の了解は通用しないため「ジェンダー平等とは男女平等のことらしい。つまりジェンダー＝男女なのだ」という誤解が生じている可能性がある。

表 1 ジェンダーが他の意味で用いられている例

出入国在留管理庁 (2023: 12-13) 「難民該当性判断の手引」 https://www.moj.go.jp/isa/publications/press/07_00036.html (2023. 6. 4閲覧)
具体例①「ジェンダーを理由として、伝統的・文化的な規範又は慣行に基づき、生命、身体又は自由の侵害又は抑圧及びその他の人権の重大な侵害 (中略) を受けるおそれがある集団に属する者」→考察: ジェンダー自体が「性別による伝統的・文化的な規範・慣行」を含意している。そのため「(性別による) 伝統的・文化的な規範又は慣行を理由として、伝統的・文化的な規範又は慣行に基づき」と繰り返している 具体例②「特定のジェンダーに関する特有の事情」→考察: ジェンダーを性別の意味で使用していると考えられる。
朝日新聞 (2023. 3. 25 朝刊) 「難民認定、初の手引き LGBT・ジェンダー迫害明記 入管庁策定」
具体例「ジェンダー迫害」→考察: 「ジェンダーによる迫害」「ジェンダーを理由とする迫害」であれば意味が通るが「ジェンダー迫害」では「ユダヤ人迫害」「黒人迫害」のように「ジェンダー“を”迫害する」という意味にとれる。ジェンダーという集団が存在するわけではない。
因京子 (2006: 63) 「談話ストラテジーとしてのジェンダー表示形式」日本語ジェンダー学会編 佐々木瑞枝監修『日本語とジェンダー』ひつじ書房 (pp.53-72)
具体例①「話者のジェンダーと一致したジェンダーを用いても」→考察: 2つの「ジェンダー」を同時に使用。前者が「性別」、後者が「性別役割語」を意味していると思われる 具体例②「話者のジェンダーと一致」「話者の性と一致」→考察: 「ジェンダー」と「性」を併用。「性」とは何か
有森丈太郎 (2017: 27) 「ジェンダー・アイデンティティの多様性から考える日本語教育 JAPANESE LANGUAGE EDUCATION AND DIVERSE GENDER IDENTITIES」『2017 CAJLE Annual Conference Proceedings』トロント大学 (pp.24-33)
具体例「学習者が自他のジェンダーやセクシュアリティに関わらず、安心して学べる環境作り」→考察: ジェンダーを性別、あるいはジェンダー・アイデンティティのような意味で使用していると考えられる
Twitter で「ジェンダーの人」と検索した結果の一例 (検索日2023/6/4)
具体例「(前略) いま制服を設定するならばすべてのジェンダーの人とジェンダーをやっていない人が、すべてのパターンから選べるようにしないと意味がない」@Partyonthepizza (2023. 5. 30) →考察: ネット上では「ジェンダーの人」という呼び方が散見される。性的マイノリティ、主にトランスジェンダーのことを指していると思われる

いずれにしても平等にすべきはジェンダー（社会的文化的性別）ではなく、女と男の当事者ではないだろうか。日本ではジェンダーの定義とジェンダー平等の訳の間に一貫性がなく、ジェンダー＝男女／性別という誤解を否定できない。それを放置すれば、人間本体から分離したジェンダーと性別の混同が起き、翻ってジェンダーこそ性別の本質であるかのような錯覚を生み、身体的差異由来の差別が不可視化されてしまう不安が拭えないのである（例：ジェンダーレストイレの流行）

そこで筆者は、現在ネット上で使用が見られる「ジェンダー解体」を提案する。ジェンダー解体とは文字通り「ジェンダーは平等にするものではなく解体するものである」という意味で、主に一般の女性がジェンダー平等に疑義を呈す形で使用が広がっている（表2）。

今後はジェンダーの用法に加え、ジェンダー解体の使用傾向等にも注目したい。

表2 ジェンダー解体の使用例

「強くて逞しい男は『男らしい』男ではなく、ただの強くて逞しい男であり、素直で優しい女は『女らしい』女ではなく、ただの素直で優しい女である、とするのがジェンダーの解体された世界だ」いそろく（2021. 12. 26）「ジェンダー解体とは」Hatena Blog
「ほんと、ジェンダー平等とか意味わからん言葉遊びじゃなく大事なのはジェンダー解体だよ」（2023. 5. 20）@F_toukou1 Twitter

[引用文献]

- 伊東秀章（1995）「セックスかジェンダーか？ — 概念、定義、用語使用をめぐる考察 —」『心理学評論』38-3、心理学評論刊行会、441-461.
- 東京新聞（2022. 8. 25 朝刊）「審査員の77%男性占める — 文化芸術9分野大賞受賞は66%」若桑みどり（2003）『お姫様とジェンダー — アニメで学ぶ男と女のジェンダー入門』筑摩書房.
- J・W・スコット 荻野美穂訳（2004）『増補新版ジェンダーと歴史学』平凡社（Joan Wallach Scott（1999）Gender and the Politics of History Revised Edition. Columbia University Press）.

（よしだ さおり・恵泉女学園大学講師）